



春の訪れとともに咲くのが桜。日本での桜の80%はソメイヨシノだと言われています。桜を大きく分類すると自生種(山桜を代表とする桜)、一重の里桜(染井吉野が代表)、里桜(八重~半八重桜)となります。さくらの語源についてはいくつかの説があり、そのひとつに古事記に登場する「木花開耶姫」(このはなさくやひめ)のさくやが転化したものだという説があります。いずれにせよ、日本を代表する花と言え、「桜」であることは間違いのないでしょう。今年は、元気を出すためにも、「お花見」など、皆さんでお出かけになってはいかがでしょうか？

「太陽光発電」のしくみ・・・

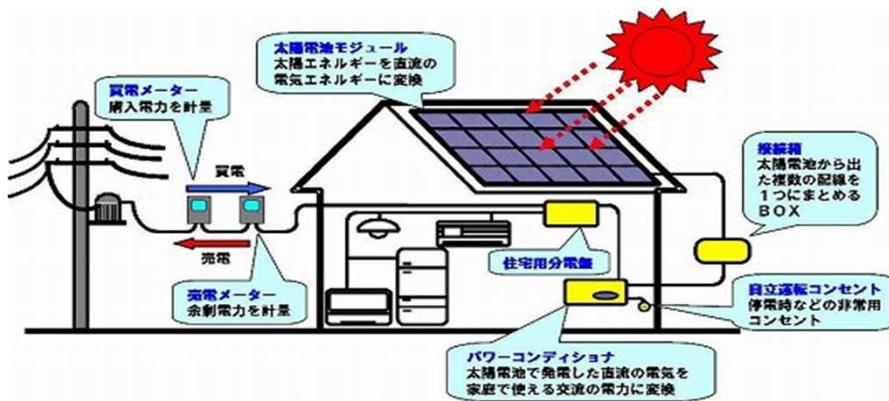
※太陽の光エネルギーを受けて、太陽電池が発電した直流電力を、パワーコンディショナにより、交流電力に変換、家庭内に電気を供給する。

現在最も多く使われている太陽電池は、シリコン系の半導体で、光が当たると、日射強度に比例して発電します。システムとしては、接続箱、パワーコンディショナ、分電盤などで構成されています。一般には電力会社の配電線とつながっているので、発電電力が消費

電力を上回った場合は、電力会社へ逆に送電(逆潮流)して電気を買い取ってもらうことができ、発電した電力で足りない時や、夜間などは従来どおり、電力会社の電気を使います。

太陽電池は、使われる素材や構造によって、シリコン系、化学物半導体系、結晶系があります。

また、構成単位によって、「セル」「モジュール」「アレイ」と呼び名が変わります。



太陽光発電のメリット

1. クリーンで枯渴しない

発電時に二酸化炭素(CO2)などの大気汚染物質を発生させない。

2. 設置場所を選ばない

屋根や屋上、近年では、壁に設置するケースもあります。

3. メンテナンスが簡単

システムは構造的に、比較的シンプルで、耐用年数も20年以上とされています。

(諸条件により異なる。)

太陽の光という無尽蔵のエネルギーを活用する太陽光発電は、年々深刻化するエネルギー資源問題の有力な解決策のひとつであり、日本は、世界でもトップクラスの太陽光発電技術を有する国でもあり、

導入量にも更なる増加が期待されています。

ECO×モ・・・【エコ事業所認定制度とは？】

※事業活動における環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施している事業所を、名古屋市が「エコ事業所」として認定し、自主的な取り組みを支援するものです。事業所の形態、規模は

問わず、エコ事業所での取り組み事例は他の事業所の参考になる様、普及に努める。

対象は・・・事業所の所在地が名古屋市内にあること。

「環境に配慮した取り組み及び評価点」表により、評価点が6点以上あること。

認定の範囲・・・本店、支店、営業所等、対外的に独立して事業活動を営んでいると認められる事業所単位。

認定・審査・・・聞き取り、現地調査、内容確認実施、ISO14001取得事業所は原則、書類により実施。

認定のメリット・・・認定証、プレートの交付、「ロゴマーク」の表示、入札制度の優遇措置など。

